

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループは2023年9月をもって第128期第2四半期を終了いたしましたので、連結決算概況についてご報告申し上げます、ご理解賜りたいと存じます。



2023年12月 代表取締役社長 **佐口 敏 康**

「変革と挑戦」を進め、社会的利益と経済的利益を両立させるサステナブル経営を通じて、企業価値の持続的向上をめざします。

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う行動制限の緩和等により、社会経済活動の正常化が進み、景気は穏やかな持ち直しの動きがみられました。一方で、国内外の金融政策の違いに伴う円安進行や海外経済の減速懸念、地政学的問題を背景とした原材料・エネルギー価格の高騰に伴う物価上昇が続き、先行き不透明な状況が続いております。

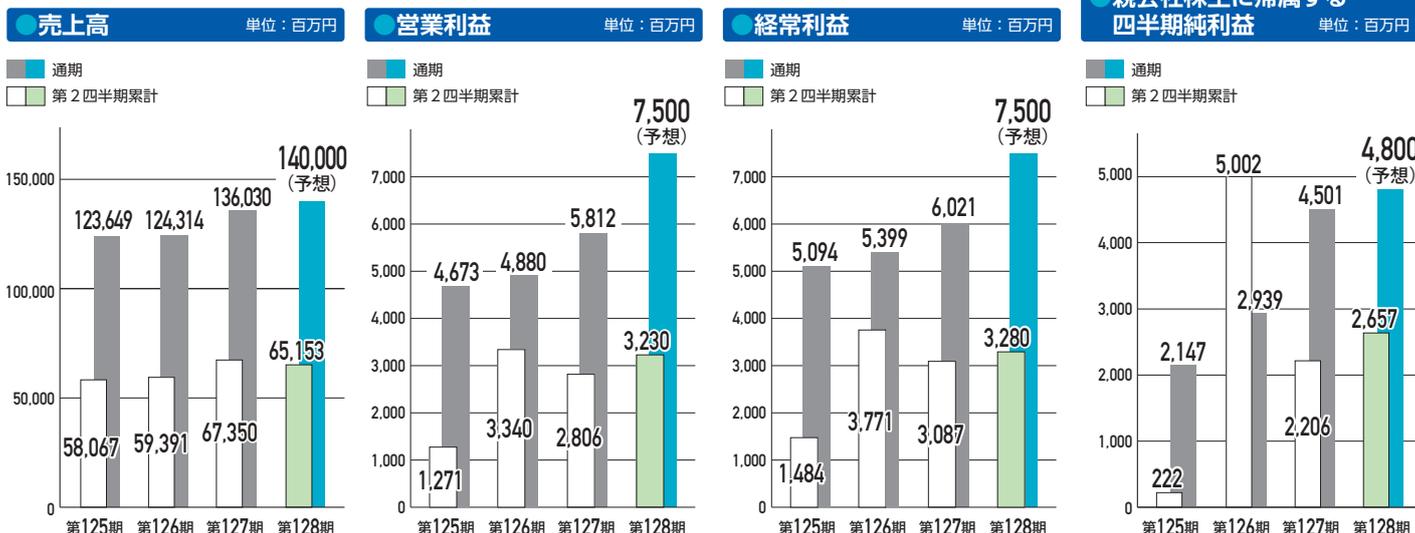
このような事業環境のもと、当社グループでは、中期経営計画「VISION 2030 stage1」の2年目にあたり、引き続き「新たな価値の創出」「資本コスト重視の経営」「企業体質の進化」「環境に配慮した経営」の4つの基本戦略への取り組みを進めました。

各事業の概況としては、機能ソリューション事業は、物価上昇によるフィルム需要の減速や、原燃料高の影響を受けました。メディカル事業は、生体吸収性の新製品販売および中国における拡販が順調に進みましたが、医療用レーザーの販売が低迷しました。アパレル事業は、販売回復が進む中で、商品の高付加価値化を含めた価格改定が進み収益性が改善しました。また、ライフクリエイティブ事業は、行動制限の解除により順調に推移しました。

不透明な状況が続きますが、これからもグンゼにしかできない「ここちよさ」をお客さまに提供し続け、社会貢献に努めてまいります。

株主の皆さまには変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

決算ハイライト



連結業績のご報告

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2022年4月1日から 2022年9月30日まで	2023年4月1日から 2023年9月30日まで
売上高	67,350	65,153
売上総利益	20,013	20,513
販売費及び一般管理費	17,206	17,283
営業利益	2,806	3,230
営業外損益	280	50
経常利益	3,087	3,280
特別損益	58	584
税金等調整前四半期純利益	3,145	3,865
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,206	2,657

売上高 前年同期比3.3%減少

機能ソリューション事業で5億円の減収、メディカル事業で1億円の減収、アパレル事業で7億円の減収、ライフクリエイト事業で7億円の減収となり、全体では21億円の減収となりました。

営業利益 前年同期比15.1%増加

機能ソリューション事業で1億円の減益、メディカル事業で1億円の減益、アパレル事業で5億円の増益、ライフクリエイト事業で微増益となり、全体では4億円の増益となりました。

(注) 各セグメントの合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値であり、全体の合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整した数字となっております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2022年4月1日から 2022年9月30日まで	2023年4月1日から 2023年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,048	3,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,676	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△360	△4,822
現金及び現金同等物に係る換算差額	443	672
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,641	△660
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,828	10,886

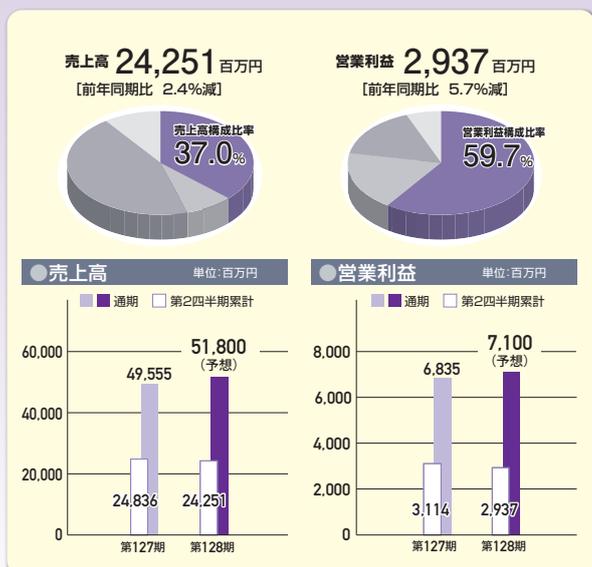
営業活動によるキャッシュ・フロー 前年同期比56億円増加

税金等調整前四半期純利益38億円、減価償却費30億円、法人税等の還付額12億円、棚卸資産の増加19億円、仕入債務の減少14億円などにより35億円の収入となり、前年同期比56億円の増加となりました。

セグメント状況

(注) 現在推進中の中期経営計画「VISION 2030 stage1」における成長牽引役としてのメディカル事業の位置づけを明確にするため、これまで機能ソリューションセグメントに含まれていたメディカル事業を「メディカル」セグメントとして新たに区分しております。そのため機能ソリューション事業、メディカル事業のセグメント別数値は第127期、第128期のみ掲載となっております。

機能ソリューション事業



プラスチックフィルム分野は、米国の包装用フィルムが堅調に推移しましたが、国内・アジアでは需要停滞の影響を受けました。エンジニアリングプラスチックス分野は、OA機器向けが停滞も、半導体及び一般産業向けが堅調に推移しました。電子部品分野は、中国向けタッチパネルが市況低迷の影響を受けました。

〈プラスチックフィルム分野〉



食品などの包装に使われているOPPフィルム

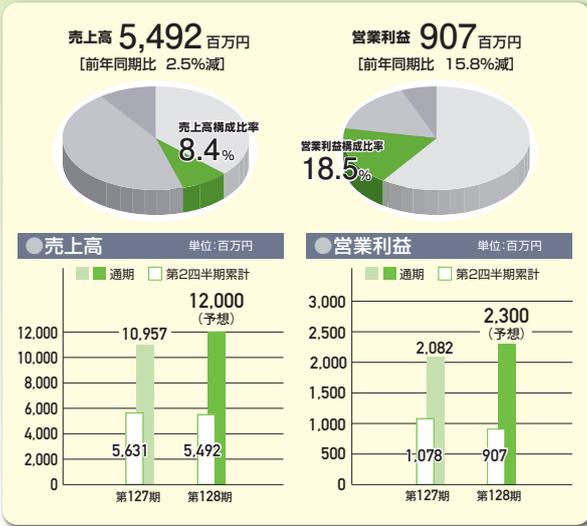
〈エンジニアリングプラスチックス分野〉



フッ素樹脂製半導体製造向けフィルター用ネット

(注) セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

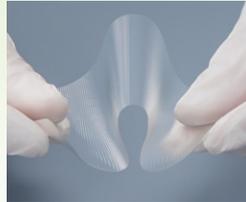
メディカル事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

メディカル事業は、新製品の癒着防止材や、中国向け製品は好調に推移しましたが、コロナ後の美容医療機関の開院減少や設備投資抑制などにより、医療用レーザーの受注が減少しました。

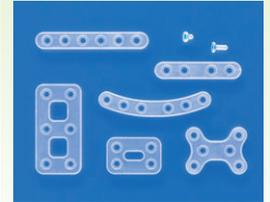
〈メディカル分野〉



シート状吸収性癒着防止材 (テナリーフ)

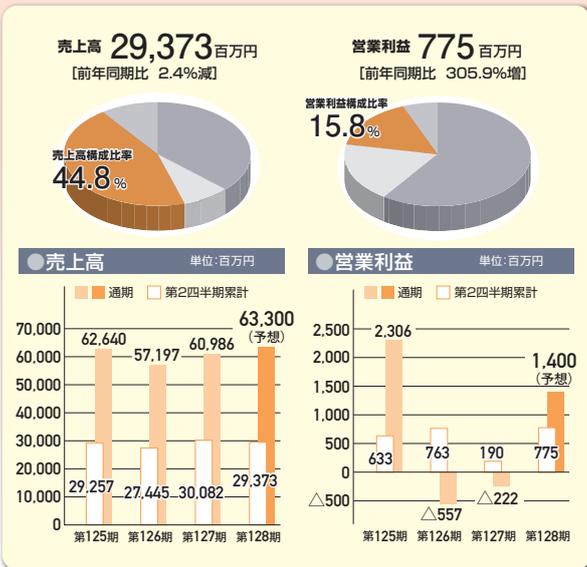


人工皮膚 (ペルナック)



吸収性骨接合材 (ネオフィックス)

アパレル事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

アパレル事業全体では、強化を進めるEC・直営店ルートが伸長しましたが、量販店ルートが苦戦したほか、記録的な残暑による秋冬商品展開遅れの影響を受けました。引き続きDtoCシフトによる成長戦略と価格改定による利益改善に取り組みます。インナーウェア分野では、顧客ニーズに対応した付加価値商品が好調に推移しました。レッグウェア分野は、収益性の改善に向けた構造改革を継続的に進めております。

〈インナーウェア分野〉



包み込まれるはき心地。カラダに馴染む立体成型ボクサーパンツ [BODY WILD]



柔らかなストレッチが生み出す心地よく自然なフィット感。シルエットまですっきり美しく。オーガニックコットン混インナー [Fitte]

〈レッグウェア分野〉



強く、優しく、美しく、なめらかなはき心地が心地よく、丈夫で長持ち。新しく生まれ変わった [SABRINA] タイツ

ライフクリエイト事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

不動産関連分野は、前期の遊休地再開発プロジェクトによる売上計上により減収となりました。行動制限の解除により、ショッピングセンター事業とスポーツクラブ分野は、ともに回復傾向にあります。

〈不動産関連分野〉



グンゼタウンセンター つかしん (兵庫県尼崎市)

〈スポーツクラブ分野〉



グンゼスポーツ

株主優待について

9月末 / 中間期のみ

保有株数と保有年数に応じた優待額を付与、優待額の範囲内でご希望の優待サービスと交換等いただけます。

クーポン

グンゼ公式通販【グンゼストア】でのお買物の際にご利用いただけるクーポンを発行

贈呈品

優待額の範囲内でお好きな製品と交換

寄付

優待額1,000円を1口として、こどもの未来応援基金へ寄付

年2回 毎年9月末・3月末

さらに **30%** 割引優待

通販カタログ「セレススタイル」で割引優待にてご購入いただけます

※カタログはイメージです



保有株数	株式保有年数		
	3年未満	3年以上5年未満	5年以上
100~299株	2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
300株以上	4,000円相当	6,000円相当	8,000円相当

※2023年度中間期の株主優待は2023年9月30日を基準とした保有株数と保有年数に基づき実施いたします。

※保有年数は、毎年9月末日を基準日とし、同一株主番号で継続して株主名簿に記録されている年数です。
(当社株式をすべて売却した後に、再度当社株式を購入された場合は、継続保有となりません。)

株式の状況 (2023年9月30日現在)

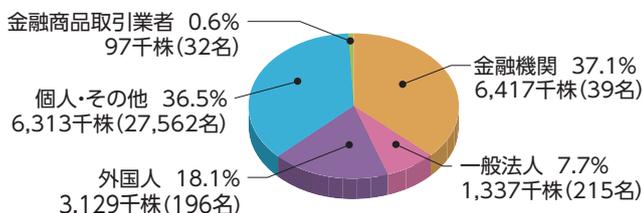
発行済株式の総数 17,293,516株

◎自己株式 (2023年4月1日から2023年9月30日)

取得 0.5千株 (2百万円)
処分 17千株 (76百万円)
期末 227千株 (970百万円)

◎単元株式数：100株

株主数 28,044名



(注)円グラフは発行済株式数に対する保有割合

大株主一覧 (上位10名の株主)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カस्टディ銀行	2,132	12.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,088	12.24
株式会社京都銀行	587	3.44
グンゼグループ従業員持株会	508	2.98
全国共済農業協同組合連合会	429	2.51
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	296	1.74
第一生命保険株式会社	290	1.70
株式会社GSIクレオス	271	1.59
損害保険ジャパン株式会社	199	1.17
グンゼ共栄会	197	1.16

(注)当社は、自己株式227千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

会社の概況 (2023年9月30日現在)

社名 グンゼ株式会社
 設立年月日 1896年8月10日
 資本金 26,071百万円
 従業員 1,502名(単体) 5,122名(連結)
 本店 京都府綾部市青野町膳所1番地
 大阪本社 大阪市北区梅田二丁目5番25号
 ハービスOSAKAオフィスタワー22階
 TEL(06)6348-1313
 東京支社 東京都港区東新橋一丁目9番1号
 東京汐留ビルディング15階
 TEL(03)4485-0000

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月下旬
 株主総会・期末配当基準日 3月31日
 公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 上場取引所 東京(プライム市場)
 証券コード 3002
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502
 同連絡先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL: 0120-094-777(通話料無料)

※取締役、監査役、執行役員などの変更はございません。

GUNZE

ホームページはこちらから

グンゼ

検索

この株主通信はグンゼのコットンくずを再利用したサーキュラーコットンペーパーを使用しています。